

一応供覧	文書分類	保存年限	13510永
議長	局長	書記	主任 担当

令和6年6月28日

津南町議会議長 恩田稔 様

議席番号 9番

議会議員 栗原洋子



一般質問の通告について

令和6年6月12日開会の第2回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1、柏崎刈羽原発再稼働に関する町長の見解を問う	<p>(1) 柏崎刈羽原発の再稼働問題について、新潟日報社が4月～5月にかけて県内30市町村にアンケート調査を行った。</p> <p>質問の「東電による柏崎刈羽原発の再稼働をすべきか」について町長は、「判断できない」その理由として、広域避難計画における課題が解決されていないとしている。これについて伺う。</p> <p>①その課題とはなにか伺う。</p> <p>②課題が解決すればどう判断するのか伺う。</p> <p>(2) 能登半島地震では、原発の安全性や避難計画などを改めて見直すきっかけになった。</p> <p>原子力規制委員会は禁止命令を解除させたため政府、東電は柏崎刈羽原発を</p>	町長



	<p>再稼働しようとしている。しかし規制委員会は避難については自治体に任せて検証から除外されている。</p> <p>能登半島の災害のように、家屋の倒壊やライフラインが寸断するなかで逃げることも留まることもどちらも極めて困難であることがわかった。さらに原発事故が重なった場合安全に避難できるのか課題は解決されていない。</p> <p>①能登半島地震の教訓を町のトップとしてどう考えているか見解を伺う。</p> <p>(3) 私は3月議会で、原発災害時の広域避難受け入れ自治体としていることを質問し、11避難所の場所を答弁頂いた。</p> <p>地震や津波などの複合災害の被害は広域にわたり、その上原発事故が起きた場合果たして周辺の自治体に避難者を受け入れる余裕などあるのでしょうか。</p> <p>①町民の避難所と受け入れ避難者を具体的にどうするのか伺う。</p> <p>住民の命と暮らし、財産を守るため柏崎刈羽原発の再稼働はありえないという立場で、町長の姿勢を伺う。</p>	
<p>2、デマンドタクシーについて問う</p>	<p>町内の公共交通について抜本的に解決する必要があると思うが、新しい体系について示されていない。</p>	<p>町長</p>

	<p>当面の不便解決として今のデマントタクシーは前日予約のため、不便である。県内他自治体では、1時間前予約のところがあると聞く。</p> <p>① 現在の1日前予約を改善するため、タクシー会社と検討してほしいが見解を伺う。</p>	
<p>3、介護保険料の県内最高額と介護報酬の引き下げによる影響を問う</p>	<p>介護保険料は今年度改定になり、県平均月額6,412円になったが津南町は県内最高額の7,000円である。上昇額と伸び率ともに県内で最も大きかった。</p> <p>国による訪問介護の基本報酬引き下げで、介護事業所の運営が大変になりヘルパーの不足もあり訪問介護が危機的状況である。</p> <p>① 津南町は介護保険料が県内で一番高い自治体になったがその理由を伺う。</p> <p>② 介護報酬の引き下げによって介護人材がさらに不足すると思うが町長の見解を伺う。</p> <p>③ ケアマネージャーの待遇改善と人材確保について伺う。</p> <p>④ みさと苑の町内撤退により入所待機者がさらに増えると思うが町長の見解を伺う。</p>	<p>町長</p>